

令和3年度 提案型協働事業 評価票

【事業名】 まち中の自然、ホテルで復活、発見、そしてふれあい！

環境保全会議あいづ ECA	環境生活課
(1)協働の相手方と信頼、尊重し合う関係を意識しながら企画事業を行うことができましたか。	
<p>協定書に基づき互いの特性を生かして役割分担、相互の信頼、尊重し合う関係をもって事業を遂行できた。</p>	<p>これまでも他事業で関わりのある団体であったため、当初から信頼関係のもと、相互の立場や役割を意識しながら協議に臨むことができた。</p> <p>今回の事業についても、事前の相談等を受けており、事業の趣旨を理解することができていた。</p>
(2)事業の課題認識と目的を協働の相手方と共有することができましたか。	
<p>市役所の担当者と当初から何度かの打ち合わせにより、趣旨・目的の共有が行われた。事業推進に関連し、協働事業であることにより御薬園を管理する会津若松観光ビューローや会津若松市北会津支所の全面的な協力が得られた。子ども会（育成会）や自治会と途中の経過についても、その都度、写真などのデータを添えて報告、確認を行ってきた。課題認識と事業の目的を共有できた。</p>	<p>(1)に記載のとおり、事前の相談が密になされていたため、生態系の保全と地域コミュニティの活発化という目的は十分に共有できていた。</p>
(3)自らは、当初想定した役割を果たすことができましたか。	
<p>提案者としての役割には、関係機関やその代表者との連絡調整・打ち合わせ・意見聴取・対象地域の河川や水質・夜間照明などの調査・ホテルやカワニナ採取や養成等が想定され、それらを実行できた。</p>	<p>協定に定めた当初の役割については、十分に果たすことができた。なお、団体への助言等にとどまってしまったため、もう少し発展的な役割を果たすことが出来ればよかったと考える。</p>
(4)事業の進捗状況や情報を協働の相手方と共有することはできましたか。	
<p>(2)の通りネットを通して詳細に報告が行われてきた。事業の進捗状況や情報の共有は十分になされ得たと考えている。</p>	<p>相手方からは、随時事業の報告があったため、情報の共有はできた。</p> <p>一方で市からは、生物飼育等のノウハウがないことから、専門的な情報提供等を行うことができなかった。</p>

(5)協働の相手方と互いの特性を活かすことができましたか。

提案者の特性は地域での生活に根差した感性と行動力。現地の自然環境と地域居住者の状況把握、ホタル・カワニナの養育といった地道な活動力、持ち分を生かすことで成果に結びついたと思われる。そして提案者の活動に対して関係機関からの全面的な協力をいただいた。

今回の事業では、関係団体等とつながりがあり、専門知識を有する人材や機動力もある市民団体の特性が生かされていた。

また、市としても市民団体では難しい関係各課との連携について協力するなど、各々の特性を生かした事業遂行ができたものとする。

(6)この事業を協働により実施することで効果は上がりましたか。

(5)の特性発揮は、行政の在り方と深く関わるまち中の自然復活・発見という本事業の趣旨、目的と結びつくことで大きな成果を上げることができた。

地域コミュニティの活発化については、今年度の事業である程度成果が見られたものと思われる。一方、ホタルの生育環境については、単年度では成果を確認することは難しい。

(7)その他、この事業を通じて感じたことや、相手方への要望、制度の改善策等について

新型コロナ感染は地球上の4億人に拡散され、依然終息のメドは立っていない。その強力な感染力は、直接的な人と人とのつながり・結びつき・絆を引き離し分断する状態を生み出した。しかし、コロナ禍の中で当プロジェクトの学習会や観察会への参加呼び掛けに子ども達もたくさん集まってくれた。顔を合わせ、相互の健在を確認しながら、身近な居住の場にある自然環境、川や水、そこに生きるホタルを通した生活環境の在り方に懐かしい新鮮さを感じてもらえた。今後はコロナ感染の終息を見据え、会津若松市の自然と歴史・文化を生かした長期まちづくりの視点で本事業を位置づける必要がある。

日本の成熟した未来社会は人々に残る心の原風景への関心と参加の意思をすくい取る仕組みを内包するものであってほしい。市民の思いと行政の役割が一つになって初めて大きな成果を生むことになると思う。予算を含む継続的な支援を引き続きお願いしたい。

11月に実施した放流会は遅すぎであった。ホタルの生態からすれば、8月後半～9月初めが適している。

※参考：ゲンジボタルの幼虫放流はいつがよいか～幼虫の生存率と成長速度から～

北九州市ほたる館 館長 新海 正信

ホタルに限らず生物の放流は、その地域の環境に大きな影響を及ぼすため、今後も事業実施に当たっては、過去の生物分布や地元住民の意見などをよく吟味し、適切に行うことが望ましい。過去の生物分布の資料の提供や町内会との連絡調整等については、市でも協力できる部分があるため、今後も継続する際は適宜相談をしていただければと思う。